

	年		組		番		名前
--	---	--	---	--	---	--	----

**教材 1 - G - (1) 古代から中世までの文化史**

次の(ア)～(セ)の間に答えなさい。

(ア) 飛鳥文化にもっとも関係の深いものを、下の①～④の中から1つ選び、番号で答えなさい。

- |             |                |
|-------------|----------------|
| ① 広隆寺弥勒菩薩像  | ② 東大寺南大門金剛力士像  |
| ③ 唐招提寺鑑真和上像 | ④ 平等院鳳凰堂阿弥陀如来像 |

(イ) 飛鳥文化にもっとも関係の深い寺院を、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 平等院    ② 東大寺    ③ 法隆寺    ④ 唐招提寺

(ウ) 天平文化にもっとも関係の深い人物を、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 聖徳太子    ② 藤原道長    ③ 蘇我馬子    ④ 聖武天皇

(エ) 天平文化の作品で和歌を集めたものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 日本書紀    ② 古事記    ③ 万葉集    ④ 風土記

(オ) 奈良時代の仏教の様子にあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 仏教の力で国を守ろうとして、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てた。  
② 末法思想の流行から阿弥陀如来の信仰が貴族の間で広がった。  
③ 真言宗や天台宗などの密教が受け入れられ、山間で厳しい修行を積んだ。  
④ 仏教を受け入れるかどうかで豪族間で争いがおき、蘇我氏が勝利した。

(カ) 藤原氏が政治の中心だった頃の仏教の様子にもっともあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 仏教の力で国を守ろうとして、国ごとに国分寺・国分尼寺を建てた。  
② 末法思想の流行から阿弥陀如来の信仰が貴族の間で広がった。  
③ 真言宗や天台宗などの密教が受け入れられ、山間で厳しい修行を積んだ。  
④ 仏教を受け入れるかどうかで豪族間で争いがおき、蘇我氏が勝利した。

(キ) 平安時代の頃の文化で「源氏物語」にもっとも関係の深い人物を、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 紀貫之<sup>きの つらゆき</sup> ② 清少納言<sup>せいしょうなごん</sup> ③ 紫式部<sup>むらさきしきぶ</sup> ④ 最澄<sup>さい ちよう</sup>

(ク) 古墳時代に伝えられたものとしてあてはまらないものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 仏教 ② かな文字 ③ 儒教<sup>じゆ きよう</sup> ④ 漢字

(ケ) 平安時代のものとしてあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 法隆寺五重塔 ② 東大寺大仏 ③ 東大寺正倉院 ④ 平等院鳳凰堂

(コ) 次の〔 〕に最も関係の深いものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

〔から衣 すそに取りつき 泣く子らを 置きてぞ来ぬや 母なしにして  
(防人の歌)<sup>さきもり</sup>〕

- ① 日本書紀 ② 古事記 ③ 万葉集 ④ 風土記

(サ) 平安時代に活躍した人物にあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 紀貫之 ② 鴨長明<sup>かも ちようめい</sup> ③ 藤原定家<sup>ていか</sup> ④ 運慶<sup>うん けい</sup>

(シ) 鎌倉時代のものにあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 古今和歌集<sup>こきん</sup> ② 源氏物語 ③ 枕草子<sup>まくらのそうし</sup> ④ 徒然草<sup>つれづれぐさ</sup>

(ス) 室町時代の頃に完成し今日にも影響を与えているものとして、あてはまらないものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 水墨画<sup>すいぼくが</sup> ② 書院造り ③ 歌舞伎<sup>かぶき</sup> ④ 狂言<sup>きようげん</sup>

(セ) 鎌倉時代に成立した浄土宗の開祖にあてはまるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 親鸞<sup>しん らん</sup> ② 一遍<sup>いつ べん</sup> ③ 法然<sup>ほう ねん</sup> ④ 道元<sup>どう げん</sup>

年  組  番 名前

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)

(サ)	(シ)	(ス)	(セ)